

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 年 月 日			
所属学部・研究科	文学部 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ユヴァスキュラ大学 (国名: フィンランド)			
所属学部・学科等名	教育学部			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 26年 8月 18日 ~ 平成 26年 12月 31日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: フィンランドの移民局が取り扱う在留許可証			
	ビザ申請先: 在日フィンランド大使館			
	取得方法, 提出書類: 必要な書類に記入した後、顔写真、口座の残高がわかるもの、ユヴァスキュラ大学の受け入れ許可証などをオンラインで提出した。その後、東京にあるフィンランド大使館で面接、指紋の採取など。			
	手続きに要した日数: 3週間ほど			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 26年 8月 15日			
経路	関西国際空港 ~ ヘルシンキ空港 (広州、アムステルダム経由) ~ ユヴァスキュラ (駅)			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (チューターが駅に車で迎えにきてくださいました) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	大きなオリエンテーションは学期が始まってからあります。私は夏休みの英語コースに参加していたので、そこで大学の使い方・町の説明などを受けました。			
帰国年月日	平成 27年 1月 1日			
経路	ヘルシンキ空港 ~ 関西国際空港 (広州、アムステルダム経由)			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	735000	円	
	内訳	渡航費	150000	円
		保険料	65000	円
		教科書代(学費)	0	円
		宿舍費	150000	円
		食費	120000	円
		その他 (旅行・交際費)	250000	円
	(費)		円	
	(費)		円	
3. 授業について				
2014年 秋学期	9月 日 ~ 12月 日			

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	学部のアカデミックな授業、英語で行われる授業に対応するためのアカデミックイングリッシュの授業、フィンランド語の授業など、様々なタイプの授業があります。すべてに共通することは、ネットを仲介して授業の登録・レポートの提出・スライドの配布・テストの概要などが行われるということです。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	留学生向けの授業は基本的に英語で行われます。私は英語教育を中心とした授業を履修していましたので、現地の学生たちとも英語で学習をすることができました。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (2人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり 220 ユーロ 約 30000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	私は大学が紹介してくれた学生寮に住んでいました。学校からすこし離れていますが(自転車で15分程度)、スーパーが近く、寒さ対策もしっかりしていて、住みやすかったです。注意することは、この寮は大学の斡旋ではありますが、別の会社が管理をしているので、手続きなどに少し戸惑いました。フラットメイトは二人いて、チリ人と日本人でした。トラブル防止のためか、アジア人同士で同じ部屋になる、同じ国籍の人同士で組ませる、といったことがあるようです。'Party Building'と呼ばれている、毎週末に深夜までパーティーが開かれる棟もあり、騒音被害がひどいです。冬は寒いですが、建物の中は非常に快適で、半袖で過ごせます。洗濯機・乾燥機は寮についており、ネットで予約の必要はありますが無料です。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	

日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	私は大きな病気にかからなかったのでお世話にならなかったのですが、大学の保健センターのような施設で無料で診断を受けることができますようです。	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	そこまで深刻ではなかったですが、冬場は曇り空・日照時間の減少により、頭痛・睡眠障害に悩まされる友達が何人かいました。ビタミン剤を買うなどして乗り切っていました。また、10月ごろからかなり冷え込む日が続きます。寒さ・雪対策はもちろんですが、道路が凍結してとにかく滑りやすくなるので、滑りにくいブーツが必要になります。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
<p>フィンランドの人は英語を流暢に使うことができますので、基本的に英語だけで生活できます。ですが、フィンランド語しかはなすことができない人はもちろんいます(特に年配の方)。道路標識はフィンランド語ですし、買い物に行った時には表示がすべてフィンランド語ですので戸惑うと思います。生活に必要な最低限なフィンランド語は学習してもいいと思います。大学もさまざまなフィンランド語の授業を開講していますし、内用も場面にそったものばかりで、実用的です。なにより、フィンランド人にフィンランド語で話しかけると喜んでくれます。</p> <p>食事ですが、大学の食堂では学生証を提示することにより 2.6 ユーロでがっつりで食べることができます。スーパーに行けば、しょうゆ・みそ・ポリッジ用の米(日本米と似ていました。1 キロ 1.2 ユーロ!)を購入することができ、自炊をすれば日本食を食べることもできます。</p>		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 29年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 28年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input checked="" type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他(教員免許取得のため)	
現在の状況および今後の予定・進路等	5年目での教員免許取得に向けて対策を続ける予定です。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	教員免許を志望しつつ3年次で留学した場合、4年で卒業することは不可能だとわかっていたので、単位取得については特に何もしていません。教育実習については、説明会を欠席する報告をする必要がありました。所属学部の学生支援室の方に確認をする必要があります。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細(出版社, URL等)	コメント
7. 自由記述(後輩へのアドバイス等)		
<p>フィンランド、とてもいい国です。ユヴァスキュラ大学に留学するために TOEFL 等を受ける必要があると思いますが、大学が提示している点数を超えていても、派遣学生として決まった後も、語学の学習は続けてください。言語学習にゴールはないですし、より流暢に話すことができれば、さらに留学が楽しく、充実したものになると思います。がんばってください。</p>		

学習の概要に関するレポート

私は交換留学生として、ユヴァスキュラ大学教育学部に在籍していました。交換留学生向けの授業は基本的に英語で行われます。フィンランド人向けの授業は、基本的にフィンランド語で行われるようなので、留学生たちには履修しづらいかもしれません。ですが、私は教育学部の英語教育の授業を主に取っていて、それらの授業は英語で行われていたので、ほかの国から来ている交換留学生たちだけでなく、現地の学生たち（大学院生を含む）と同じ授業を受けることができました。

学部のアカデミックな授業、英語で行われる授業に対応するためのアカデミックイングリッシュの授業、フィンランド語の授業など、様々なタイプの授業があります。すべてに共通することは、ネットを仲介して授業の登録・レポートの提出・スライドの配布・テストの概要などが行われるということです。よく言われることではありますが、日本の大学の授業と比べて海外の大学の授業は、多くの発言が求められ、発言をする材料として多くの **Reading assignment** を事前に読んでおく必要があります。ただ読むだけでなく、内容をしっかりと理解し、自分の意見を持たなくてはなりません。

教育学部の授業では、言語教育を主として、言語とはなにか、授業を運営する上での言語の種類などの内容を扱っていました。英語に限らず、言語教育としての観点から、様々な教授方法の特色が紹介・比較され、それぞれのメリット・デメリットを検証しました。また、前述したようにクラスは多国籍に構成されていたので、それぞれの出身国の言語教育の哲学を検証しました。クラスはほとんどがディスカッションの時間であり、教授が紹介するトピックに対して学生同士がグループで話し合い、それをクラス内でまとめる、教授がコメントをする、といった流れでした。評価は授業で貢献、レポート、テストなど様々です。**Book Exam** という、授業に関係する文献を教授が提示し、各自で読み込んでオンラインでテストをうけるというタイプのテストもありました。

フィンランドでは、公立の学校の授業を見学することができます。もちろんほとんどの授業はフィンランド語でおこなわれるのですが、英語の授業は英語でおこなわれるので、英語教員を目指している学生にとってはとてもいい機会になると思います。先生はすべて英語で説明をし、質問に対してフルセンテンスで回答する生徒の姿を見たときにはとても驚きました。

毎日のように大量の **Reading Assignment**(学期末には一日 30 枚ほど)、エッセイ・レポートなどがあり、なかなか勉強は大変でした。しかし、不思議なもので、自分で勝ち取った留学であったので、勉強するのが苦というよりもむしろ楽しかったです。さまざまな国籍の学生たちと、時には雑談もしながら、切磋琢磨するのは非常に有意義なものでした。自然が美しく、キャンパスはきれいなユヴァスキュラ大学で、充実した留学生活を送ってみてください。

生活に関するレポート

フィンランドの中央部に位置するユヴァスキュラは、首都であるヘルシンキから電車・バスで3時間ほどのところに位置しています。町の至る所に湖があり、自然がとても豊かなので、存分にフィンランドを感じることできる町でした。夏は町が緑で覆われ、涼しくなるにつれて木々は紅葉し、冬には一面銀世界と、日本とよく似た印象を受けるのですが、山がとても少なかったり湖があちこちにあったりと、少し違った四季を楽しむことができます。ユヴァスキュラはフィンランドの国民的な建築家である Arva Aalt に縁のある町で、建物がとってもきれいです。ユヴァスキュラ大学の建物も彼が設計したものです。フィンランド第5の都市であると聞いたことがあるのですが、実際は西条よりも少し田舎です。

ユヴァスキュラ大学での留学生の多くは、大学から自転車で15分ほどの丘の上に位置している寮に入ります。1~3人のフラットメイトとキッチン・バス・トイレなどのフラットを共有し、個人の部屋がフラットについています。電気・水道代が込みで220ユーロはとても安かったと思います。ネットは完備されています。私は、大学のそばの Campus Data という電気屋さんで Wi-Fi のルーター(約30ユーロ)をフラットメイトと割り勘で購入して使っていました。ネットでの予約が必要ですが、寮には洗濯機・乾燥機・サウナともについています。また、スーパーが近くにあり、大学からは少し遠いのが難点ですが、とてもいい立地でした。

寮には交換留学生がたくさんいるので、放課後や週末にはご飯を持ち寄ったり、コーヒーを飲んだり、パーティーを開いたりしました。各国の料理を持ち寄るパーティーでは、巻き寿司がなかなか好評でした。iPhone で人狼ゲームのアプリがあったので紹介したところ、とても盛り上がりました。英語で自分の身の潔白を証明したり相手の嘘を見抜いたり、また嘘をついたりするのはとても難しかったのですが、論理的に話さなければならなかったのが、英語の練習にとってもよかったです。

フィンランドの公用語はフィンランドとスウェーデン語ですが、フィンランドの人々は英語を流暢に話すことができるので、言葉の面で困ったことはあまりありませんでした。ただ、看板や道路標識、商品のパッケージなどはすべてフィンランド語で書いているので、慣れないうちは戸惑いました。固有名詞や生活に最低限必要なフレーズなどは覚えておいたほうがいいかもしれません。

英語圏以外への留学は、日本の学生にはあまりなじみのないことかもしれません。しかし、私は今回の留学を通して、英語圏以外がとても好きになりました。フィンランドでももちろん英語の力をのばすことはできますが、それよりも、英語が世界共通語になっていることを実感し、漠然とした表現ではありましたが、わくわくしました。福祉や教育、IT産業がとても有名で、日本とは少し違った自然が美しいフィンランド。英語を学ぶのではなく、英語で何かを学ぶ経験をしてみてはどうでしょうか。